

せんいち町内会報

令和 6 年 新年号

千田町一丁目町内会
(090-4144-4333)

謹賀新年

厚い雲に覆われるなか、稜線の僅かな隙間から顔をだした
令和六年の初日の出が、時経と共に雲が切れ快晴に
気温も暖かくなり絶好の初詣か、と思いきや様にあらず

『能登半島地震』の一報を伝えられるとは・・・
皆さんの中にも親族、知人と気がかりな方が居られるでしょう
どうか無事であります事、被災地に一日も速く復興出来る事を
新年の初祈願に考えております

町内会長 尾崎尚忠



令和6年 初日の出

1/14 新春を飾る 千田ふれあいとんど



龍のごとく燃え上がる炎

山桜の剪定

1月3日、7年前に町内会が東千田公園に広島の公園再生事業で植えた、4本の山桜の剪定作業を行いました。
昔から「桜切るバカ梅切らぬバカ」と言われ、おいそれとは手を出せませんが、造園業者の職人さんに手ほどきを受けようやくスッキリさせました。
今春には、美しい花がたくさん咲きますように！



ついに整備決定！ 旧理学部

広島市は12月、概算費用63億円を見込み、旧理学部1号館の正面欄の前半分を残し、背後に3階建を新築する方針を示した。

1月15日、広島市と広大、市立大、広島平和文化センターは、「核兵器のない世界」に向けた共同研究を進める「ヒロシマ平和研究教育機構」を設立し、旧理学部1号館の整備後は拠点として使う。

概略このように新聞報道がされ、千田地域にも広島市の担当から話がありました。

◆「知の拠点」再生プロジェクトは、広島市長が「令和2年度中に基本計画を取りまとめる」と発表してから音沙汰なして、タワマンだけが建ち、「知の拠点」は何処に！の状況でした。

それが、昨年4月の法学部回帰に続き、この度の「知の拠点」の本丸となる旧理学部の整備決定と、地元にとって新年早々おめでたいニュースとなりました。



◆大学紛争後の一九七四年、広大が統合移転を発表して50年、町内会、商店街は広大本部が出て行った事に対する、理不尽な負い目を抱えさせられながらも、地域がさびれることなく発展するよう行政に働きかけてきました。

“遊憩の森、がんセンター、県庁移転、知の拠点”移転完了後のアドバランに振り回されてきましたが、広大本部跡地問題の最終章がようやく近づいたかと思えます。

◆旧理学部整備の着工や完成時期が未定です。この度だけは空の彼方に消えないと信じて、引き続き注視して行きましょう。